

各 位

会社名	ヒビノ株式会社
代表者名	代表取締役社長 日比野 晃久 (コード番号 2469 東証スタンダード市場)
問い合わせ先	執行役員ヒビノ GMC 経営企画グループ グループ長 大関 靖 (TEL : 03-3740-4391)

## シンガポールの音響・映像機器の販売施工会社 Spectrum Audio Visual Pte. Ltd. の株式の取得（連結子会社化）及び特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、2025年2月26日開催の取締役会において、シンガポールで業務用音響・映像機器等の販売施工事業を展開する Spectrum Audio Visual Pte. Ltd.（以下、「Spectrum 社」という。）の株式を取得し、連結子会社化することについて決議し、同日付で Spectrum 社の株主との間で株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、Spectrum 社の資本金の額が当社資本金の額の 100 分の 10 以上に相当することから、同社は当社の特定子会社となります。

### 記

#### 1. 株式取得の理由

##### (1) 当社グループについて

当社グループは、「音と映像で、世界に感動をクリエイトする」をパーパスに掲げ、音響や映像を中心とした製品・商品・サービスの提供を行っています。AV&IT 分野におけるグローバルリーダーを目指し、2026年3月期を最終年度とする4ヵ年の中期経営計画「ビジョン 2025」において海外売上高比率 30%を目標に据え、日本、アジア、北米、欧州の4極体制を確立するため、M&A を活用した事業展開を進めています。

現在、当社グループは、音響、映像、照明、制御、ネットワークと取扱い商品を拡充しながら、グループの総合力を活かしてお客様のニーズにワンストップで応えるトータル・ソリューションの提供に注力しています。近年は、都市再開発やスタジアム・アリーナ建設計画等の拡大を背景に、大型複合施設の建築音響設計・施工、AV&IT システムの設計・施工、機器販売までを包括的に手がける大規模プロジェクトが増加しています。当社グループは、このようなグループ連携によるワンストップ・トータル・ソリューションを世界規模で展開していくことを目指しています。

2019年には韓国の Sama Sound グループを、2024年にはオーストラリアの InSight Systems 社を M&A により取得し、アジア太平洋地域における販売施工事業の強化を図っています。

## (2) Spectrum 社について

Spectrum 社は、1999 年に設立された業務用音響・映像機器の販売施工を手がける企業です。シンガポールを拠点に、マレーシアや成長市場として注目されるスリランカなどへも事業を拡大しています。企業、教育機関、医療施設、エンターテインメント施設、政府・公共機関など、幅広い市場に向けて、AV&IT システムの設計から施工、保守、更新まで、包括的なソリューションを提供しています。特に、シンガポール政府の大規模な公共プロジェクトに入札できる資格を有する点は、大きな特長です。

Spectrum 社は、設計・施工品質の高さに定評があり、音響、映像、制御の各分野に精通した専門チームを擁することで、大規模かつ複雑な AV&IT 環境の構築を得意としています。また、民間・公共の幅広い市場で豊富なプロジェクト実績を持ち、それぞれのニーズに最適化したソリューションを提供することで、強固な顧客基盤を確立しています。システム導入後も、アフターサービスや機器の増設・更新を通じて、継続的なビジネスチャンスの創出につなげています。技術力の高さとカスタマイズ性のあるソリューションが同社の競争力を支える基盤となっています。

## (3) 事業におけるシナジーについて

シンガポールは、東南アジアに進出するグローバル企業の主要拠点として、さまざまな業界のビジネスハブの役割を果たしています。音響・映像機器市場においてもその重要性は高く、地域全体の市場成長を牽引しており、2026 年には市場規模が 1,248 百万シンガポールドルに達する見込みです\*。

当社グループは、Spectrum 社の子会社化により、東南アジア市場開拓への足がかりを築き、日本、韓国、オーストラリア、東南アジアをカバーする販売施工ネットワークを構築します。これにより、アジア太平洋地域において、以下の展開を加速させます。

- ・ 東南アジア市場での事業展開を進める企業の現地ニーズの確実な取り込み
- ・ 大規模プロジェクトへの積極的な参入
- ・ システム導入後のマネージドサービス強化による安定収益モデルの確立
- ・ 取扱いブランドの相互紹介による世界的な AV メーカーとの提携強化
- ・ エンジニアリング技術の融合による高度な AV&IT ソリューションの提供

今後も、グローバル企業はもとより、有力なローカル企業との連携を強化し、事業基盤を拡充することで、アジア太平洋地域における市場シェア拡大を図ります。これにより、「世界トップレベルの AV&IT グループを目指す」というビジョンの実現に向け、中期経営計画の達成を確かなものとしてまいります。

\* YCP Holdings (Global) Limited 調べ

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	Spectrum Audio Visual Pte. Ltd.		
(2) 所 在 地	41 Kallang Pudding Road, Golden Wheel Building, #07-00, Singapore 349316		
(3) 代表者の役職・氏名	Managing Director Chua Hua Kiang		
(4) 事 業 内 容	業務用音響・映像機器の販売・システム設計・施工・メンテナンス		
(5) 資 本 金	2,000 千シンガポールドル (約 230 百万円)		
(6) 設 立 年 月	1999 年 12 月		
(7) 大株主及び持株比率	Chua Hua Kiang		100.0%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決 算 期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期 (監査前)
純 資 産	5,727 千シンガポールドル (658 百万円)	5,370 千シンガポールドル (617 百万円)	6,441 千シンガポールドル (740 百万円)
総 資 産	18,252 千シンガポールドル (2,099 百万円)	17,611 千シンガポールドル (2,025 百万円)	19,534 千シンガポールドル (2,246 百万円)
1 株 当 たり 純 資 産	2.86 シンガポールドル (329.34 円)	2.69 シンガポールドル (308.78 円)	3.22 シンガポールドル (370.40 円)
売 上 高	16,107 千シンガポールドル (1,852 百万円)	18,950 千シンガポールドル (2,179 百万円)	26,539 千シンガポールドル (3,052 百万円)
税 引 前 当 期 純 利 益	84 千シンガポールドル (9 百万円)	585 千シンガポールドル (67 百万円)	1,650 千シンガポールドル (189 百万円)
当 期 純 利 益	△51 千シンガポールドル (△5 百万円)	675 千シンガポールドル (77 百万円)	1,365 千シンガポールドル (157 百万円)
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△0.03 シンガポールドル (△2.96 円)	0.34 シンガポールドル (38.82 円)	0.68 シンガポールドル (78.50 円)
1 株 当 たり 配 当 金	— (—)	0.7 シンガポールドル (80.5 円)	0.3 シンガポールドル (34.5 円)

(注) 1 シンガポールドル=115.00 円にて計算しております。

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	Chua Hua Kiang
(2) 住所	Singapore
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（議決権の数 0個）	（所有割合 0.0%）
(2) 取得株式数	1,500,000株（議決権の数 1,500,000個）	
(3) 取得価額	普通株式	5,532千シンガポールドル (636百万円)
	アドバイザー費用等（概算額）	42百万円
	合計（概算額）	679百万円
(4) 異動後の所有株式数	1,500,000株（議決権の数 1,500,000個）	（所有割合 75.0%）

（注）1シンガポールドル=115.00円にて計算しております。

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年2月26日
(2) 契約締結日	2025年2月26日
(3) 株式譲渡実行日	2025年4月1日（予定）

### 6. 今後の見通し

2026年3月期から、Spectrum社は当社の連結子会社となる予定です。  
本件が2025年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

（参考）当期連結業績予想（2025年2月10日公表分）及び前期連結実績

（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2025年3月期)	59,500	4,050	3,900	2,150
前期連結実績 (2024年3月期)	50,491	2,814	2,951	1,627